



株式会社舞浜リゾートライン セーフティレポート 2023

トップメッセージ	1
輸送の安全に関する基本的な考え方	2
輸送の安全を推進する社内の体制	3
輸送の安全への取り組み	6
事故等の発生状況	12
みなさまからの声をかたちに	13

トップメッセージ

いつもディズニーリゾートラインをご利用いただき誠にありがとうございます。

2022年度は、隣接するテーマパークの入園者数の上限が段階的に引き上げられたことに加え、さまざまなデザインのフリーきっぷの発売や、東京ディズニーシー®に新たに加わったキャラクターで車内を装飾したリゾートライナーの運行などにより、多くのゲストのみなさまをお迎えすることができ、ディズニーリゾートラインに活気を取り戻すことができました。

また、2020年度より導入を進めております新型車両「リゾートライナー(Type C)」について、その4編成目となるパープルが2022年11月18日より運行を開始しました。

一方、輸送の安全への取り組みについては、策定した「2024中期経営計画」の中で、輸送安全の強化を目的に、従来の事故防止視点に加えて、防火・防災、防犯に関するマネジメント体制を整備することを掲げ、2022年4月に「安全マネジメント推進部」を発足しました。安全マネジメント体制のさらなる強化を図ってまいります。

このほか、リスクアセスメントの取り組みを継続、リスクに対する感度をさらに高めるための教育と訓練の機会を積極的に設け、安全目標の達成にむけて活動してまいりました。

こうした安全に対する取り組みにより、開業以来21年間にわたり重大な運転事故の発生件数が0件であったことに対し、関東運輸局より表彰をいただくことができました。

わたしたちは「笑顔運び、夢をつなぐ 幸福創造企業」の企業使命のもと、東京ディズニーリゾート®にお越しいただいたゲストのみなさまが、リゾートを訪れた最初の瞬間から笑顔になっていただき、リゾートを離れる最後まで夢を見続けていただけることをこれからも目指してまいります。

この「セーフティレポート2023」は、鉄道事業法第19条の4に基づく安全報告書として、2022年度における当社の安全に対する取り組みなどについてご紹介し、広くご理解いただくために作成、公表いたしました。ぜひお読みいただき、みなさまの忌憚のないご意見、ご感想をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

2023年9月
株式会社舞浜リゾートライン
代表取締役社長 東樹 秀明



1 輸送の安全に関する基本的な考え方

安全基本方針

当社では、「輸送の安全」に関する基本的な考え方として、3項目の安全基本方針を定めています。

安全基本方針

私たちは法令を遵守し、安全を最優先する企業文化を築きます。
私たちは安全を確保する能力を高め続けます。
私たちは安全を確保する体制・設備・手順を維持向上させます。

行動規範

上記の安全基本方針が、より具体的な行動に結びつくよう、行動規範を定めています。

行動規範

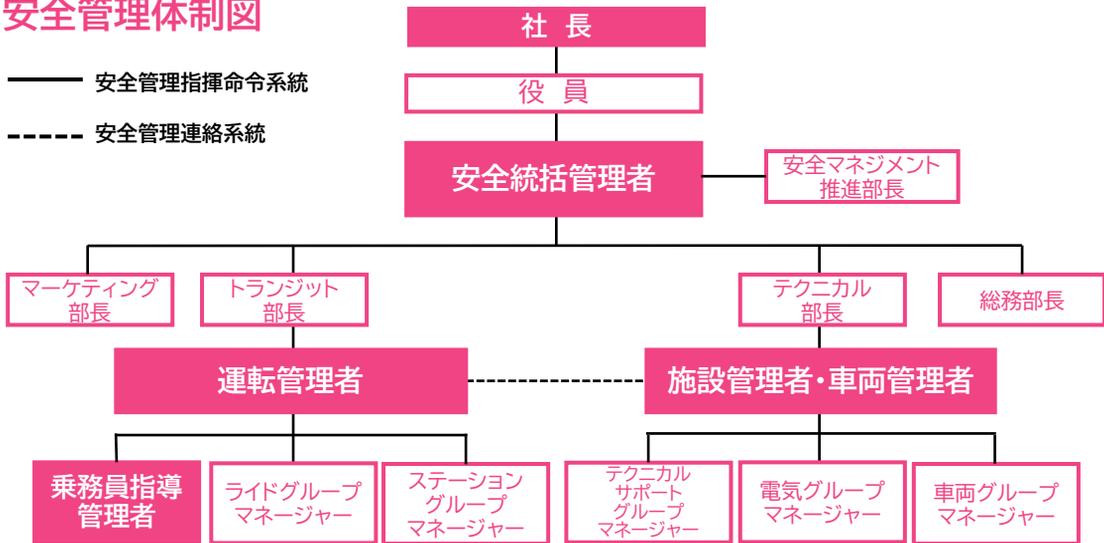
1. 法令や規則を理解しこれを遵守する。
2. 幅広く収集したリスク情報に的確な処置を行い、事故の未然防止に努める。
3. 複数の事項を対処する場合は、安全に関わる事項を優先する。
4. 発生している状況を具体的に把握し、迅速かつ正確に報告する。
5. 異常・緊急時に判断に迷いがある場合は、最も安全と認める取扱いをする。
6. 事故や災害が発生した際は、人命救助を最優先する。
7. 安全をより高めるために必要な事項を改善し続ける。

2 輸送の安全を推進する社内の体制

安全管理体制

輸送の安全の確保のため、社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の責務を「安全管理規程」で定めています。

安全管理体制図



おもな管理者とその責務

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。	乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。	施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する業務を管理する。	車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

「安全マネジメント推進部」の発足

近年、鉄道施設における事件の多発や、激甚化する災害の増加を踏まえ、鉄道事故対策に加え、事件・災害に対する未然防止と被害の最小化を図ることを目的に、これまであった「安全マネジメント推進」を、2022年4月より「安全マネジメント推進部」に改編しました。一層の安全マネジメント体制の強化を図ってまいります。

安全管理の方法

輸送の安全を確保するためには、PDCAサイクルを確実に機能させる必要があります。そのためにも、安全に対する検討および研究を継続し、さらに内部監査を実施することにより安全活動のチェックを行っています。

社長以下全キャストが一丸となって安全管理体制の確立に努めています。

PDCAサイクル

P:輸送の安全に関する方針などの策定(Plan)→D:実行(Do)→C:チェック(Check)
→A:改善(Act)の4段階を継続的に繰り返し、業務改善につなげるプロセスの事です。

輸送の安全に関する会議の実施

年間計画に基づいて、毎月1回開催される「輸送安全対策会」では、自社および他社で発生した事故・トラブル等の報告と再発防止策の検討、中期的な視野のもと輸送安全に関わる事案の研究を行っています。また定期的に実施する異常時総合訓練の計画案の作成や、訓練実施後の検証も行っています。

この会議で話し合われた内容は、開催の都度、管理職層へ報告されます。



運輸安全マネジメント制度に係る内部監査の実施

2022年度の内部監査は、

- 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等についての適合性・有効性の確認
- 日常業務における実施頻度および運行への影響が高い手順の適合性・有効性の確認(防災対応訓練)

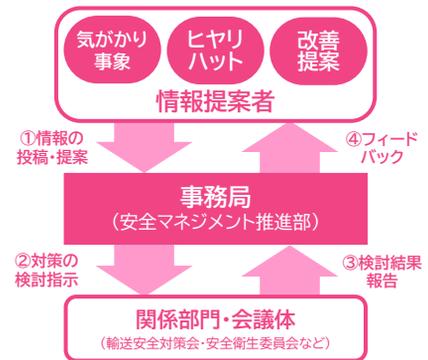
等について、経営トップや関係者へのインタビューなど通して確認しました。

ボトムアップ情報の収集

すべてのキャストを対象に、日々の業務の中における「ヒヤリ・ハット事象」や「改善提案」などを気軽に発信できる制度です。

集まった情報は事務局が集約し、その対策について、効果的に検討・実行できる関係部門または会議体に検討を指示します。

検討を指示された部門等は、それぞれの会議で対策を検討し、その結果を事務局および提案者へフィードバックします。



運輸安全マネジメント評価

運輸安全マネジメント評価は、国土交通省が経営トップや安全統括管理者などへのインタビューや、それに関連する資料の確認を通じ、安全管理体制の構築・改善が適切に行われているかを評価・助言するものです。

当社は2022年7月に実施され、当社の安全に対する取り組みについて評価・助言をいただきました。

今後も引き続き安全管理体制の強化に努めてまいります。

3 輸送の安全への取り組み

当社では「安全方針」や中期経営計画等に基づき、毎年度、輸送の安全の確保に関する目標と必要な取組計画について設定しています。2022年度は、次のとおりとしました。

2022年度 安全目標

有責事故 0件
有責輸送障害 0件

2022年度 取組計画

1. 共通

- (1)リスクアセスメント体制のさらなる向上
- (2)全社的・継続的視野によるリスク対応訓練のありかたの見直し
- (3)技術、知識、情報の伝承体制強化

2. 事故防止

- (1)モノレール運行不能時の振替・代替輸送協定の見直し
- (2)KY活動の充実

3. 防災

各種防災対応マニュアル整備

4. 防犯

東京ディズニーリゾート内モノレールとしての警備強化(テロ等)対策の中期的な推進

このほか定例的な活動にも継続して取り組んでおります。今後もソフト・ハードの両面から安全・安定輸送にまい進します。

2022年10月26日、国土交通省 関東運輸局主催の「令和4年度『鉄道の日』記念 関東運輸局長表彰式」において、当社が「鉄道等運転無事故事業者」表彰を受賞いたしました。

この「鉄道等運転無事故事業者」表彰は、関東運輸局管内の鉄軌道事業者のうち、一定の期間、運転事故がなかった事業者に対し表彰するもので、当社は2001年7月の開業以来、有責事故ゼロを続けた結果、このたび7期連続(21年間)での受賞となりました。

今後もこの記録を伸ばし続けられるよう、引き続き安全の確保と事故の防止に全社員一丸となって取り組んでまいります。



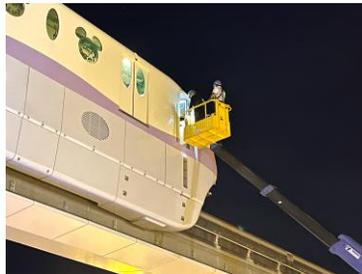
異常時に対する備え

万が一の場合に備えて、事故・トラブルや自然災害など、さまざまな状況を想定した異常時対応訓練を定期的を実施しています。

2022年度実施した主な内容は以下のとおりです。

救援列車による故障列車の收容訓練(2022年9月)

営業運転が終わった夜間の線路を使い、本線上で車両故障が発生したとの想定で、地上からのドライバー(運転士)の送り込み、救援列車と故障列車の併結、最寄駅までの非常運転といった訓練を行いました。



故障した列車に、地上から高所作業車を使いドライバーを送り込みます。



故障列車の後続から救援列車を連結させます。



救援列車が故障列車を押しながら運転、最寄駅に收容します。

非常電源装置による列車移動訓練(2023年1月)

営業運転が終わった夜間の線路を使い、震度4の地震と、その後に大規模停電が発生したとの想定で、非常電源装置の電力を使用した列車の移動訓練を行いました。

万が一東京電力からの受電が停止したときに備え、車庫内に「非常電源装置」を備えています。
これは、モノレールの運行で発生した電気(回生電力)のうち、余剰分をバッテリーに蓄えておき、停電時にバッテリーの電力で、モノレールを動かすものです。



回生電力・非常電源装置

防火・防災訓練

4つの駅と本社棟において、地震や火災を想定し、自衛消防活動の動きを確認するための自主防火・防災訓練を定期的に行っています。



鉄道テロ・事件に対する備え

鉄道テロや事件の未然防止のため、私服勤務の駅係員や本社社員が「特別警戒中」の腕章を着け、駅構内やモノレール車内の巡回に取り組んでいます。



駅のホームやコンコースにあるデジタルサイネージでは、国土交通省作成の注意喚起ポスターを掲示しています。

ゲストのみなさまのご理解とご協力をお願いします。



災害に対する備え

地震・台風などの強風・降雪といった自然災害に対する各種マニュアルを整備、必要に応じて常に見直しを図っています。

このうち2022年度は、強風に対するマニュアルを見直し、台風の接近などで強風が予想される時にモノレールの運転を計画的に見合わせる、いわゆる「計画運休」についても、その判断基準を明確にしました。

またこれに合わせ、モノレールの計画運休や運転見合わせを行う際に、多言語での情報提供を目的としたデジタルサイネージによる表示を、2023年2月より運用開始しました。(各駅の自動券売機上部のモニターに表示)



デジタルサイネージの表示例

安全・安心への投資

安全・安定運行の基盤となる設備投資は積極的に実施しております。
2022年度実施した主な内容は以下のとおりです。

新型車両「リゾートライナー(Type C)」1編成更新(2022年11月)



※2023年度までに全5編成を更新予定

東京ディズニーシー・ステーション修繕工事

当駅の屋根や外壁の経年対策などを目的として、2021年度から修繕工事を実施しました。(2023年4月竣工)



階段避難車の配備(2023年3月)

災害時や非常時、エレベーターを使用できない状況下において、歩行困難な方を上層階から安全に避難させることができる階段避難車を全4駅に配備、2023年度より運用を開始しました。



安全運行を支えるシステム

ディズニーリゾートラインでは、自動列車運転装置(ATO)によるドライバーレス運転を行っています。これを支えるため、信号システムには保安度の高い自動列車制御装置(ATC)を導入するとともに、各駅のホームには、列車との接触や転落防止のためのホームドアを設置しています。

なお、ディズニーリゾートラインのドライバーレス運転は、一般の無人運転とは異なり、列車の最後部にコンダクター(車掌)が乗務しています。コンダクターは、ゲストのみなさまへのご案内やドアの開閉、車内のモニター、さらに異常時の避難誘導等を柔軟に対応出来るように訓練をしています。

このほか、列車の運行を総合的に管理する列車運行総合制御装置(TTC)や、機器の状態が把握できる車両モニター装置の搭載等により、安全確保に努めています。

安全運行を支えるキャスト

ディズニーリゾートラインの安全運行は、システムのみならずテクニカル部門とトランジット部門それぞれのキャストが互いに連携を取り、各々が役割を完遂することで支えています。

キャストは、危険予知トレーニング(KYT)や定期的を実施する教育・訓練等によって、迅速で的確な対応が取れるよう意識づけられています。



安全にご利用いただくために

ディズニーリゾートラインをこれからも安全にご利用いただけるよう、みなさまのご協力をお願いします。

エスカレーターのご利用について

- エスカレーターをご利用の際は、安全のため、手すりにつかまりステップの黄色い線の内側にお立ちください。
また、荷物は落とさないようにしっかりとお持ちください。
- ベビーカーのご使用やキャリーケースなどの大きな荷物をお持ちの際には、エレベーターをご利用ください。

ホームや車内では

- 発車ベルが鳴ってからの駆け込み乗車は、思わぬケガのもととなります。次の列車をお待ちください。
- ホームや車両のドアに手をつけていると、開く際に戸袋に手が引き込まれるおそれがあります。小さなお子様をお連れで、ドア近くにお立ちの際は十分にご注意ください。
- 列車の走行中、やむを得ず急ブレーキがかかる場合があります。安全のため、乗車中は座席にお座りになるか、お立ちの場合は近くの手すりやつり革におつかまりください。

みなさまへのお願い

- 危険物等の持ち込みは固くお断りいたします。
保安上の理由により、手回り品の内容を点検させていただく場合がございます。
- モノレールの各車両には、非常時にコンдукターと通話ができる「非常通報装置」が設置されています。
車内において急病人が発生したり、不安全な行為等を目撃されたりした時は、コンдукターにお知らせください。
- 緊急に列車を止めなければならないときは、ホームの中央付近に設置してある「STOPボタン」を押してください。



非常通報装置



STOPボタン

4 事故等の発生状況

2022年度の事故等の発生状況は、以下のとおりです。

鉄道運転事故

鉄道運転事故は、ありませんでした。

鉄道運転事故とは、国土交通省の鉄道事故等報告規則(省令)に基づく、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身傷害事故、鉄道物損事故をいいます。

インシデント

インシデントは、ありませんでした。

インシデントとは、省令に基づく、事故には至っていないものの運転事故が発生するおそれがあると認められる事態のことをいいます。

輸送障害

輸送障害は、1件発生しました。

輸送障害とは、省令に基づく、国土交通省への報告対象となった列車の運休または30分以上の遅れをいいます。

発生日：2022年4月26日(火)

概要：15時24分頃に発生した車両不具合の点検のため、該当列車の車庫入庫を決定。その代車として、別の列車を準備しましたが、その際オペレーター(運輸指令員)とコンダクター間の乗車確認が不十分で、コンダクターの乗車を確認しないまま車庫から自動運転で出発しました。そのためオペレーターの操作で直ちに停止させ、コンダクターが乗車済みであることを確認しましたが、自動で再出発できない位置に停止したことから、運転再開までに約40分を要しました。

対策：車庫からのコンダクターの乗り込み方法およびオペレーターへの確認連絡方法を見直しました。

5 みなさまからの声をかたちに

ゲストのみなさまに安心してご利用いただくために、みなさまからお寄せいただいたご意見を反映させています。

エレベーター乗り場には、車イスをご利用の方をはじめ、エレベーターを必要とされる方への優先利用にご協力いただけるよう、案内表示の設置を行っています。



車イスやベビーカーをご利用の方にも、モノレールの乗り降りがスムーズにできるよう、固定式スロープを全てのドア位置に設置しています。



また、キャストのサービス介助士2級の資格取得を積極的に進めています。

全4駅にAED(自動体外式除細動器)を設置しています。



また、キャストは適切にAEDを取り扱えるように普通救命講習を受講しており、定期的に取り扱い訓練も実施しています。

お問い合わせ

当社のセーフティレポートへのご意見やご感想、安全の取組みに関するご意見がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社舞浜リゾートライン
安全マネジメント推進部
TEL:047-305-2407 (平日9:00~16:00)
〒279-8523 千葉県浦安市舞浜2番地18